7.アフターサービス

■修理を依頼されるときは

●修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1.	品　　名	三菱パイプ用ファン
2.	形　　名	○○-○○○○
3.	お買上げ日	年　月　日
4.	故障の状況	(できるだけ具体的に)
5.	ご 住 所	(付近の目印なども)
6.	お名前・電話番号・訪問希望日	

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただく個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合およびご了解の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル **0120-726-471**(無料)
携帯電話・PHS・IP電話対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号　FAX (0573) 66-5659(有料)

■ご相談対応　平日 9:00〜12:00　13:00〜19:00
(土・日・祝日/弊社休日は除く)
■上記時間帯以外のご相談(受付のみ)
■三菱電機お客さま相談センター
フリーダイヤル **0120-139-365**(無料)
いろいろ(0570)ツアーナビ　365日
携帯電話・PHS・IP電話の場合
三菱電機お客さま相談センター　TEL (03)3414-9655(有料)

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634**(無料)
インターネット **www.melsc.co.jp**
携帯電話サイト
空メールの送り先:**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570-01-8634**(有料)
ナビダイヤル **FAX 0570-03-8634**(有料)

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお間違めのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S14A-KANKI

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8.仕　様

(電圧100V)

形　名	設　定	消費電力(W) 50Hz	消費電力(W) 60Hz	風　量(m³/h) 50Hz	風　量(m³/h) 60Hz	騒　音(dB) 50Hz	騒　音(dB) 60Hz	質量(kg)
V-08PHSD7		4.6	5	75	85	24	26	0.7
V-08PHLD7	強	2.1	2.4	75	85	21	23.5	0.62
	24時間換気(弱)	1.3	1.4	45	47	16	16	
V-08PTSD7		4.6	5	75	85	24	26	0.7
V-08PTLD7	強	2.1	2.4	75	85	21	23.5	0.62
	24時間換気(弱)	1.3	1.4	45	47	16	16	
V-08PNSD7		6	6.6	80	95	26	29.5	0.7
V-12PHSD7		6.1	6.7	135	145	29	31	1.09
V-12PHLD7	強	3	3.3	135	145	28	30	0.91
	24時間換気(弱)	2.3	2.5	105	105	21	21	
V-12PTSD7		6.1	6.7	135	145	29	31	1.09
V-12PTLD7	強	3	3.3	135	145	28	30	0.91
	24時間換気(弱)	2.3	2.5	105	105	21	21	
V-12PNSD7		6.4	7	135	145	29	31	1.09
V-12PNLD7	強	3.3	3.6	135	145	28	30	0.91
	24時間換気(弱)	2.6	2.8	105	105	21	21	

※特性はJIS C 9603に基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921-2

環境条件	電　圧	単相100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による
	温　度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	「仕様」による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間*1 台所　2410時間/年 寝室　2190時間/年 トイレ　2614時間/年 浴室　1671時間/年	

注*1 24時間換気のものは、8760時間/年とする。

愛情点検　☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。		使用中止
	• スイッチを入れても羽根が回転しない。 • 運転中に異常音や振動がする。 • 回転が遅いまたは不規則。 (モーターはメンテナンスが必要な部品です) • こげ臭いにおいがする。 • 本体据付部に腐食、破損などがある。	故障や事故防止のため、電源を切ってお買い求め販売店にご連絡ください。 点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様メモ	形　名		お買上げ年月日	年　月　日
サービスを依頼されると便利です。	お買上げ店名(住　所)(電話番号)	( )		

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。(材質名は主材料にISO規定の略号を使用。)

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱パイプ用ファン

〔居室・洗面所用〕

センサー	形　名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
湿度センサー	V-08PHSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PHSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-08PHLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	—
	V-12PHLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		

〔居室用〕

センサー	形　名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	電気式シャッター付
温度センサー	V-08PTSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PTSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-08PTLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	—
	V-12PTLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
雑ガスセンサー	V-08PNSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	停止タイプ	●
	V-12PNSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		
	V-12PNLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	24時間換気タイプ	—

据付説明書　販売店・工事店様用

据付を始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

■据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。
(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
■形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。
それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
■形名によって据付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
■直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
■雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
■接続パイプは市販品の塩化ビニル管または鋼板管のいずれかをご用意ください。

センサー	形　名	適用パイプ	付属部品
湿度センサー	V-08PHSD7	塩化ビニル管 VP、VU(呼び径100㎜) 鋼板管(内径100㎜)	木ネジ2本
	V-08PHLD7		
温度センサー	V-08PTSD7		
	V-08PTLD7		
雑ガスセンサー	V-08PNSD7		
湿度センサー	V-12PHSD7	塩化ビニル管 VP、VU(呼び径150㎜) 鋼板管(内径150㎜)	木ネジ2本
	V-12PHLD7		
温度センサー	V-12PTSD7		
	V-12PTLD7		
雑ガスセンサー	V-12PNSD7		
	V-12PNLD7		

1.安全のために必ず守ること
⇒梱包箱をご確認ください

2.据付前のお願い

- 高温(40℃以上)になるところに据付けないでください。
(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。
(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けないでください。
(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- 暖房器具の近くや急激な温度変化のある所には据付けないでください。
(誤動作の原因になります)
- システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。
(壁厚により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。
(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3.各部のなまえと外形寸法図

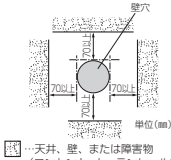
●各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください
●外形寸法図　⇒梱包箱をご確認ください

4.据付方法

1 据付前の準備

壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

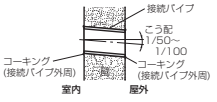
1. **据付場所を決めて壁穴をあける。**
- 右図の壁穴位置をご確認ください。
- 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)と厚肉(VP)管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
- 必ず床面より1800㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



…天井、壁、または障害物(コンセント、カーテンレールなど)

お願い
- **据付位置は右上図の位置になるようにしてください。**
右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合、運転スイッチの切替えができなくなる場合があります。
- **吹き抜けなどの高い位置には据付けないでください。**
(検知不良の原因となります)

2. **壁穴に接続パイプを確実に固定する。**
接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

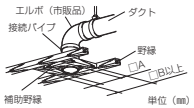


※接続パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

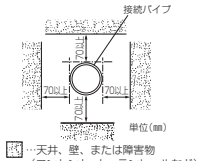
お願い
- **接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。**

天井据付けの場合(野縁工事とダクト工事)

1. **下図のように野縁工事をし、ダクト工事をする。**



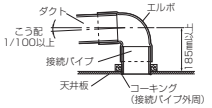
タイプ	A	B
V-08タイプ	□120	□180
V-12タイプ	□170	□230



…天井、壁、または障害物(コンセント、カーテンレールなど)

お願い
- **接続パイプが壁から右上図の位置になるようダクト工事を行ってください。**
右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスできなくなる場合、運転スイッチの切替えができなくなる場合があります。

2. **ダクトの中心から天井板まで185㎜以上離して天井板を張る。**
3. **エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。**
4. **接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。**



※接続パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

お願い
- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2 電気工事

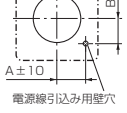
電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

■ 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
■ 当社製以外の電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマー等)をご使用の場合は組合せ上、不具合が発生するおそれがありますのでご使用の際はあらかじめご確認ください。

⚠警告
- **交流100Vを使用する**
直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

⚠注意
- **電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う**
接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- **電気工事は電気工事店に依頼する**
感電の原因。

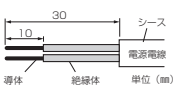
1. **電源電線を右図の位置から室内に引き込む。**
- 電源電線はVVFφ1.6または φ2.0　2芯をご使用ください。



単位(㎜)

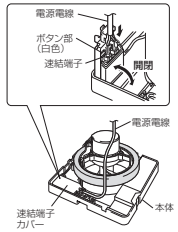
タイプ	A	B
V-08タイプ	60	50
V-12タイプ	75	55

2. **電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする。**
- 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



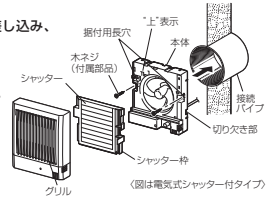
3 本体の据付(壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

1. **本体からグリルをはずす。**
2. **結線をする。**
(電気工事は電気工事士の方が実施してください)
① 速結端子カバーを右図のように開ける。
② 電源電線を速結端子に差し込む。
③ 速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。



お願い
- **電源電線は確実に速結端子に差し込みます。**
速結端子より導体が出ないようにしてください。
- **電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。**
- **電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。**
- **電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部(白色)を押しながら電源電線を引き抜いてください。**

3. **本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。**
- 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
- 左右の据付用長穴をご使用ください。
必要に応じて上下部ネジ穴(V-12タイプのみ)をご使用ください。
- 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。



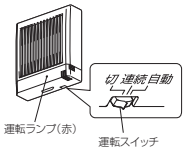
〈図は電気式シャッター付タイプ〉

お願い
- **インパクトドライバーは使用しないでください。**
本体の固定部分が破損するおそれがあります。
- **本体を接続パイプに差し込むとき、シャッター中央部(電気式シャッター付タイプ)に力を加えないでください。**
(シャッター開閉不良の原因になります)

4. **以上の据付けが終了した後、本体とシャッター枠が確実に据付けられているか確認する。**

5.試運転

1. **センサーの検知を確認する。**
- **運転スイッチを「自動」にし、感度調節ツマミを操作して、下記のことを確認してください。**



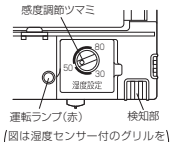
湿度センサー・温度センサー付

(1) 感度調整ツマミを左側へ回す

停止タイプ	24時間換気タイプ
・シャッターが開き、運転を開始 ・運転ランプ(赤)は点灯	・強運転 ・運転ランプ(赤)は点灯

(2) 感度調整ツマミを右側へ回す

停止タイプ	24時間換気タイプ
・シャッターが閉じ、運転を停止 ・運転ランプ(赤)は消灯	・弱運転 ・運転ランプ(赤)は点灯



(図は湿度センサー付のグリルをはずした状態を示します。)

(3) 感度調整ツマミを50%RH、または20℃に合わせる

※下記条件の場合は自動運転または停止(弱運転)しません。

センサー	運転(強運転)しない条件	停止(弱運転)しない条件
湿度	周囲湿度が30%RH(低)未満(目安)	周囲湿度が80%RH(高)以上(目安)
温度	周囲温度が5℃未満	周囲温度が40℃以上(使用しないでください)

雑ガスセンサー付

雑ガスセンサー付は検知部に息を吹きかけるなどして、裏面の**4.使用方法 ■動作シーケンス**どおりに運転することを確認してください。

※雑ガスセンサー付の強制運転について
運転スイッチが「自動」の場合、電源の投入後は5分間強制運転を行います。
(運転ランプはゆっくり点滅(1秒間隔)します)

※雑ガスセンサーで検知する/検知しないガスの種類について
表面(取扱説明書)の**4.使用方法 ■動作シーケンス**を参照ください。

2. **グリルを本体に据付ける。**
- 試運転終了後、グリルは方向を確認し本体に据付けてください。